

**きっとかなう！  
子どもの成績を上げる 10 の知恵**

---

つくば能力開発研究所主宰 学術博士  
正田 昭士

芸術生活社

---

カバーデザイン 山口寿和

挿絵 大平かずお

はじめに

私は大学、大学院時代、遺伝子工学の研究でノーベル賞を取るかもしれないと言われている教授の下で第一線の研究をしていました。

DNAにはいろいろな遺伝子情報が記憶されていて、それによって生物の性質のかなりの部分が決まっています。人間以外の動物、例えばマウスやラビットの成長は、遺伝的要因にその多くを支配されています。

ですが、学生時代に強く感じていたのは、人間の場合、親の愛情と子どもへの深い理解によってその枠を取り払うことができるのではないかとことです。プラスのスイッチのオン、マイナスのスイッチのオフが入るようになるのです。

人間は教育によって大きく変わることができる——私はこれを「教育の奇跡」と呼んでいます。

多くの親は、自分の子どもがはきはきはきして、勉強ができて、スポーツができればいいのにと考えます。

そのため、わが子がそういう子でなかったら、「ああいう子どもになったらよかったのに」「うちの子にこういう才能があればよかったのに」「何でこの力が足りないのか」などと嘆いたりします。

けれども、人間は一人一人顔が違うように、一人一人個性があります。すべての子どもは、他の子にはないその子だけの素晴らしい才能があるはずなのだと思っています。

そして、子どもが自分の才能を發揮できるようにしてやるのは、子どもに自分の遺伝子を与え、同じ環境にいる親の責任とも言えます。

その子の持っている長所、短所は、親の中に存在しているものです。親がその理解の上に立って子どもの長所を伸ばすことに努めれば、子どもは存分に自分の力を發揮し、親を超えることもできます。遺伝子の枠を超えて伸びることができるのです。

親は「ああいう子になればよかったのに」などと思うのでなく、今自分の目の前にいる子どもの才能を伸ばすにはどうすればよいかを考えるべきです。

子どもをよく観察し、その子の長所や才能を発見し、短所があれば、親がそれを克服するように全力で取り組めば、子どもは必ず伸びると私は信じています。

本書がその一助となればと思い、筆を執りました。参考にさせていただきます。

どの子も皆輝くオンリーワンに。  
それが私の思いです。

2010年1月 正田昭士

はじめに………3

## 一章

子どもの才能の見つけ方………9

◆適性、将来の目標を見つけるためには

子どもの才能・資質を見抜いて育てる／まず親がその世界をよく知る／才能を見つめる環境作り／集中力を養う環境作り／環境が育てた好奇心

## 二章

子どもの興味、関心を伸ばす………25

◆子どもを一人の人間として尊重する

子どもの気持ちを尊重する／興味を理解し、後押ししてやれば子どもは自分で伸びる／子どもを萎縮させてしまう親／結果ではなく過程を見る／子どもの気持ちを踏みにじってしまうと

## 三章

興味、関心を継続させる………43

◆継続は子どもの力になる

6年間続けたコンクールへの応募／11歳で叶えられた夢／能力を伸ばすのは継続する過程／一見勉強と関係ないことにも伸びる要素はある

## 四章

スポーツで伸ばす………59

◆わが子の一番のファンになって全力でサポートする

子どもの本気を親も本気で応援する／適度に、けれど手を抜かないサポートで

## 五章

芸術で伸ばす……71

◆好きなことに取り組むと能力が大きく向上する

子どもの「好き」を尊重する／「好き」と思う気持ちのエネルギー／進路として考えるとき／成績より準備ができているか否かが結果を左右する

## 六章

勉強ができる子に育てるには　―幼児期・小学校時代―……87

◆勉強ができる子の特徴

小さいうちに身に付けさせたい特性

## 七章

どうすれば勉強ができる子になるか　―中学・高校時代―……111

◆子どもの性格、クセを把握して指導する

その子に合った注意や指導が有効

## 八章

不登校について考える……137

◆大事なのは学校へ行くことではなく、子どもの気持ち

「行かない」のか「行けない」のかを見極める／不登校になってしまったら、責任追及よりも問題解決を／いじめられる子にもいじめられる子にもしない躰を／言ってはいけない言葉／

子どもの成績を下げる親、上げる親／塾・家庭教師に相談する

## 九章

学校で一番の子の学習方法……161

### ◆トップクラスの子の勉強方法に学ぶ

先取りの勉強／幼児期は遊びの中で学習の基本を身に着ける／小学校時代は予習で授業の理解度を深める／中学校時代に先取り学習ができていれば大学受験の準備ができる／中学から始める子はどうすればよいか／中3から勉強を始めて120番から5番に／進路の先にある大きな目標を決め、小さな目標の達成を積み重ねる

## 十章

子どもの力を最大限に伸ばす……183

### ◆ナンバーワンでなくオンリーワンの子育てを

子どもの能力、才能は一人一人違う／伸びる（世の中で通用する）子どもに共通するもの／素直な心／感動する心／感謝の心／継続する力／表面的なものではなく本質的なものを理解できる力／最後に

あとがき……195

# 子どもの才能の見つけ方

---

## 一章

## 適性、将来の目標を見つけるためには

### ◇子どもの才能・資質を見抜いて育てる

うちの子は何に向いているのだろうか。そんなことを漠然と考える人もいれば、わが子に向いているものを真剣に探そうという人もいます。あるいは、そのうち子ども自身が見つけるだろうという親もあるでしょう。

子どもは、小学生くらいまでは、何が得意で何が苦手かを自分で客観的に判断するのはむずかしいと思います。ですから、子どもの適性やそのレベルを見極めるのは親の役目であると、私は考えています。

考えてみてください。大人である親御さん自身でさえ、自分が何に向いているのか、いまだによく分からないという方のほうが多いのではないのでしょうか？